

呉地域医療構想調整会議の議事概要

呉地域保健対策協議会

会議の実施日時	令和7年3月7日 13:30~14:07 令和6年度第2回調整会議
報告事項1 医療機器の共同利用について	
○ 事務局より、中国労災病院からMR Iに係る共同利用計画書の提出があったこと、及びその内容について、資料1により報告。 《質問・意見等》 なし	
協議事項1 呉圏域で不足する外来医療機能に係る申出書について	
○ 事務局より、地域で不足する外来医療機能を担うことに係る申出書の対象を既存の医療機関に拡大することについて、「今後の国の制度改革の動向等を踏まえた上で、改めて方向性を決定することとし、継続協議」とする事務局案を資料2により提案。 《質問・意見等》 なし 《協議結果》 ○ 事務局案のとおりとすることが確認された。	
協議事項2 呉圏域における令和6年度紹介受診重点医療機関の確認について	
○ 事務局から、資料3により説明。 〔事務局案〕令和5年度に引き続き現在公表中の呉医療センター、中国労災病院、呉共済病院及び呉市医師会病院の4病院を確認する。 《質問・意見等》 なし 《協議結果》 ○ 事務局案のとおりとすることが確認された。	
協議事項3 公的医療機関等2025プランの変更について	
○ 事務局から、資料4、4-1、4-2により、地域医療介護総合確保基金の活用も含めた病床再編計画に伴う、公的医療機関等2025プランの見直しが行われたことを説明。 【呉市医師会病院】 ・病床削減及び病床機能別病床数の見直し（急性期から回復期への転換） ・病床削減に係る、地域医療介護総合確保基金（病床機能再編支援事業 単独支援給付金）の活用 〔院長補足説明〕 病院の機能を大幅に変更する計画で、削減病床数は多いが、かかりつけ医に対する支援機能は引き続き維持し、呉市の医療を支えていきたい。 【呉共済病院】 ・病床機能別病床数の見直し（高度急性期及び急性期から回復期への転換） ・回復期への転換に係る、地域医療介護総合確保基金（病床機能分化・連携促進基盤整備事業）の活用 〔院長補足説明〕 呉圏域では急性期が過剰、回復期が不足と言われていることから、地域のニーズに貢献していきたい。	

《質問・意見等》

なし

《協議結果》

- 事務局案のとおりとすることが確認されるとともに、済生会呉病院から地域医療への貢献を目的に急性期病床を地域包括ケア病床に転換する申請を中四国厚生局に行っている旨の報告があったため、このことは、プラン変更として次回会議の議事とすることとなった。

協議事項 4 呉構想区域 推進区域対応方針の策定について

- 事務局から、資料5、5-1、5-2により、呉構想区域 推進区域対応方針（案）及び、策定後の流れについて説明。

《質問・意見等》

なし

《協議結果》

- 事務局案のとおりとすることが確認された。

その他

【県地域医療構想アドバイザー】

協議事項1の「外来医療機能に係る申出書」について、これから「かかりつけ医機能報告制度」に係る国の改正を踏まえ、改めて検討するという方向性は良い。

また、新たな地域医療構想の検討において、呉圏域の医療機関は竹原市といった他圏域の患者受入も行っていることも含めて検討を進めてもらいたい。

【委員】

東広島市南部や呉市東部に接している地域は、中国労災病院の診療圏となっている。

このため、地域住民の日常生活圏の中で医療が完結できるよう同病院は、竹原市・東広島市の行政部署、消防等の関係機関や連携施設に伺い、状況説明を行っている。

【県地域医療構想アドバイザー】

2次医療圏域の患者動向をみると、外来患者は概ね圏域内で対応できているが、高度な医療機能が必要な脳血管疾患等の入院患者は違う、中国労災病院はこの状況に対応しており、今後とも提案いただきたい。

《協議結果》

会議会長の指示に基づき、資料5-2の病床部会での意見の「圏域の再編・見直し、圏域を超えた協力体制」について、事務局から県に伝えることとなった。